

2017.12.12

株式会社きねや様

伊賀まんまが目指す未来

KEYDESIGN

ファンをつくり

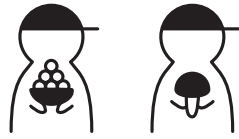
地元を応援してもらう仕組みづくり

商品を売ることはもちろん大事です。販路拡大は、もっとも優先すべきことです。

しかしそれは目的ではありません。

伊賀の生産者、伊賀の風景、伊賀の歴史、食の本来のあり方を知ってもらうことが伊賀まんまの本来の目的です。そして知ってもらい、伊賀のファンになってもらうのです。それは商品売るだけでは伝わりません。実際の生産現場を訪れてもらう、現状を知ってもらうことも大事なのです。そしてファンになってもらい、伊賀を応援する仕組みを作ることが「伊賀まんま」の目指すものです。「伊賀まんま」は伊賀の具現化した姿であり、ありのままを伝える手段なのです。

伝えたいこと



生産者



風景



歴史



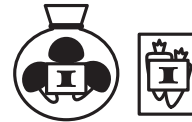
食のあり方



伊賀まんま



加工商品



認定野菜



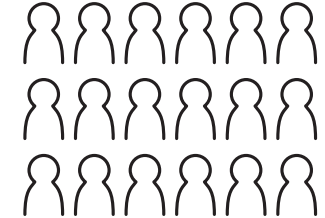
イベント



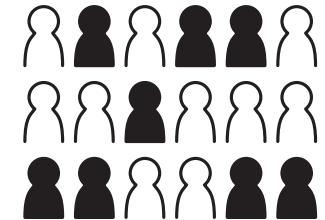
会員・季刊誌



伝え先



地元民・他県民

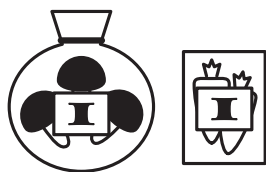


伊賀まんまファン



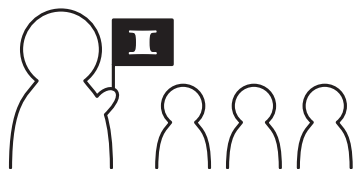
加工商品

しいたけ煮や、山椒ちりめんなど伊賀まんまの意思を体現した商品であり。消費者にもっとも手軽に伊賀まんまを知ってもらう手段。



認定野菜

伊賀まんまが認めた生産者を直接消費者に届けるための商品。生産者の思いやこだわりをダイレクトで消費者に伝えることができる。



イベント

参考事例：いなかパイプ

生産者を知るためや生産現場を体験するためのツアーなどを行うことでよりリアルに伊賀を知ってもらい、ファンになってもらうきっかけづくりを行う。



会員・季刊誌

参考事例：四万十 RIVER・東北食べる通信

伊賀の生産者や生産現場を応援するために年会費を徴収。

そしてその一部を伊賀の農産業発展のために利用する。そして伊賀のリアルを伝えるために季刊誌を発行し、旬の認定野菜とともに会員に届ける。

